

事務事業名		細浦地区避難路整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目	
	施策名	良好な生活空間の創造		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		会計	款
	基本事業名	生活道路の整備		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ R2 年度～ R3 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		項	目
根拠法令						01	08
所属	部課名	都市整備部建設課				02	03
	課長名	金野尚一				84	
	係名	土木係	電話	0192-27-3111		事務事業区分	
	担当者	館下睦章	内線	313		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
津波により壊滅的な被害を受けた末崎町細浦地区において、地区住民が安心、安全に生活できるよう住環境の改善を図るため、防災機能向上を目的とし、浸水区域を通らずに安全に避難場所まで避難できる道路を整備(新設)するものである。 本路線の整備は、延長約60m・幅員約1.5m～2.2mとする。 【計画期間】 ・測量調査設計(1式) 令和2年度 ・用地買収、補償業務 令和3年度 ・工事施工(新設改良約60m) 令和3年度 事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。				総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 20,996 一般財源 5,250 事業費計(A) 26,246 人件費 正規職員従事人数 6 延べ業務時間 960 人件費計(B) 3,840 トータルコスト(A)+(B) 30,086			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
測量調査設計 細浦地区避難路整備工事の発注		ア	事業進捗率(事業費ベース) %
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	施工延長 m
用地補償 細浦地区避難路整備工事		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
避難路利用者		名称	
		単位	
		カ	計画総延長 m
		キ	主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当り平均人口) 人
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
(避難路が)改良(新設整備)される。 (避難路利用者により)安全に避難してもらう。		名称	
		単位	
		サ	十分な幅員で舗装された供用開始道路延長 m
		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長) %
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安全で快適に移動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円					10,498	10,498
	一般財源	千円					2,625	2,625
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	13,123	13,123
人件費	正規職員従事人数	人					3	3
	延べ業務時間	時間					480	480
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	1,920	1,920
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	15,043	15,043
⑤ 活動指標	ア	%					40	40
	イ	m					60	60
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	m					60	60
	キ	人					100	100
	ク							
⑦ 成果指標	サ	m					60	60
	シ	%					0	0
	ス							

事務事業ID	1832	事務事業名	細浦地区避難路整備事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	津波により壊滅的な被害を受けた末崎町細浦地区について、浸水区域を通らずに安全に避難場所まで避難路整備を目的として復興交付金申請を行い、令和2年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 改良(新設)整備により、安全・快適に利用できるため、防災機能の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この避難路は、津波時に浸水区域を通らずに利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 歩行者の避難に十分な幅員で整備された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(居住者にとって、本計画路線は防災上、重要な避難路であり、計画区間の改良を行わなければ、本事業の目的は達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する避難路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
低下		×	×																	
令和3年度完了に向け、事業を推進する。																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	令和2年度からの繰越明許により今年度事業完了予定である。事業効果の発現に向けて早期に完了しなければならない。